

第二版発刊によせて

本書の初版は令和2年7月に発行された。爾来4年8ヶ月有余の歳月を経て、このたび新たにガイド項目の続編追加を主体に、初版の文言整理・統一等の若干の整合性を図り第二版を完成させた。

初版と第二版の相違点と特徴は

1. 初版は観光資源の単発的な紹介に留まったものの、第二版ではガイドコースの道なり道に沿って点在する観光名所とウォーキングも併せて楽しめるコース設定とした。
2. 初版は潮来市の置かれている位置づけや知名度のある文化行事や観光資源の紹介に偏りがちであったが、第二版では隠れた名所や今後脚光を浴びるであろう新規観光資源も紹介した。
3. 初版はあやめ園周りを主体とした小範囲地域限定的であったが、周辺地域にも拡大した。
4. 歴史や文化に精通し先輩諸氏の記事や考えを参考に文献を紐解き、足らざるを加筆修正した。

これら上記の1～4を加筆改訂する事で初版マニュアル目次紹介の見出しを、12項目から26項目に増加させ、内容を充実させた改訂増補版となっている。伝統と文化に培われた潮来を紹介するガイド担当者として本書を折に触れ愛読し、ガイド時のバイブルとして活用していただきたい。

ガイドがこれぞガイドと言われんが為には基礎的な知識が要るのは言うまでもない。その為の教材となるのが本書だと言える。本書は系統的に整然とまとめられた観光の知的財産だと言っても決して過言ではない。だが折に触れ目を通し、愛読し、要点は精読し記憶に留めなければならない最低限の宿命を負うのも又事実である。ガイドは郷土の魅力を再発見し、市民が誇りに思える伝統と文化、更には観光資源を紹介する事である。幸い潮来市は鹿行5市にあっても、かつてより文化の香り高い街として定説があり、紹介すべき観光名所は事欠かない。

知的財産をフル活用し、これをガイド現場で駆使し、来訪者に喜んでもらう！お客さんが説明に頷き、名所旧跡を堪能し、感動し、納得し目を輝かせる！ガイド担当者にとって、まさにガイド冥利に尽きるひと時である。この味わいを持つ経験者の一人でも多からん事を願って止みません。

ガイドを担う者が具備すべき条件はなんだろうか？

既に茨城県では数年前から県内の観光行事や観光資源を幅広く紹介した教材を発行し、一定の学識を認定された者には観光マイスターの称号を贈り、更に観光マイスター有資格者の中から観光現地で実際の案内を想定した実技の認定者にはマイスターS級の称号を贈っている。県のこの制度は他県に類例を見ない力の入れようである。本第二版は認定取得にも寄与する貴重な教材と言えます。

この制度を県ではなく潮来市に置き換えて見ればどうだろう？

- ・教材はこの度、第二版が完成し、初版に比べほぼ全ての観光領域を網羅し、質・量共に向上した。後は折にふれ目を通す機会を意図的に増やし、記憶の片隅に留める習慣をつける。
- ・現地訓練（On the job Training）を精通したガイドに積極的に同行して観光現地に場慣れする。
- ・観光現地での説明と紹介は、ガイド当人のキャラクター（方言、ユーモア、ジョーク、身振り手振り等）を発揮しつつ、自らも楽しむ。

『為せば成る、為さねば成らぬ何事も、成らぬは人の為さぬなりけり』です。先ずはモチベーション高く参加する事がスタートだと考えます。今回、同時に『ウォーキングコースガイド』初版も発行しました。本書と併読頂き最近の健康志向の高まりでウォーキングを愉しむのも一興かと思います。

最後に本書の刊行に当たり会員諸氏の大変なご協力をいただいた。ある時は酷暑の中を歩き、又ある時は寒風吹き付ける時があった。手分けして時間測定、写真撮り、最適コースを選定した。特定役員にあってはメディアを駆使し、文献を紐解き、地域住民に尋ね、造詣豊かな人の助言を受け文書を構成し、その成否を諮問した。市の観光商工課にあっては、文書の試し刷りや勉強会の支援等を頂戴した。関係者には改めて敬意を表し感謝を申し上げご挨拶と致します。

令和7年3月吉日
水郷潮来観光ボランティア連絡協議会
会長 観音堂 朋実

